

一般社団法人 日本物理学会

## 第76期物理学史資料委員会（2020年4月～2021年3月）活動報告

委員長：小長谷大介

副委員長：岡本拓司

委員：内山智香子（担当理事） 有賀暢迪 岡本祐幸 佐々木孝彦 所澤潤 高岩義信 永平幸雄 並木雅俊 難波忠清 林春雄

### 1. 物理学史資料委員会の開催

下記のとおり、3回の委員会議を行った。

第112回：2020年8月21日（金）13：30～16：15 [Zoom開催]

第113回：2020年12月11日（金）10：00～11：50 [Zoom開催]

第114回：2021年2月22日（月）13：40～15：45 [Zoom開催]

### 2. グループの構成

委員会活動のためのグループ構成は、前年度の構成を引き続き維持した。各グループのメンバー（◎印の委員はチーフ）は以下である。

- ① 資料委員会保有資料の保存と管理  
◎並木、高岩、所澤、事務局
- ② 『会報』掲載資料及び資料保存機関の情報の随時アップデートとオンライン化の検討  
◎岡本(拓)、岡本(祐)、有賀、佐々木
- ③ 資料委員会のホームページの充実  
◎高岩、林
- ④ 学会開催時のシンポ・展示等の企画検討  
◎小長谷、有賀、岡本(祐)
- ⑤ 「年表（第二版）」の定期的アップデート手順の検討  
◎難波、岡本(拓)、並木、所澤
- ⑥ 物理遺産の検討  
◎岡本(祐)、永平、林

### 3. 物理学史資料に関する情報

資料委員会会議時に各地の物理学史資料情報の収集を行った。今期の報告において言及された資料館、博物館には以下のものが含まれる。

東京大学駒場博物館、国立科学博物館、京都大学総合博物館、京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室、名古屋大学坂田記念史料室、名古屋大学博物館、東北大学史料館、東北大学金属材料研究所本多記念館、高エネルギー加速器研究機構、核融合科学研

究所、大阪市立科学館、京都文化博物館

#### 4. 各グループの活動

##### ①資料委員会保有資料の保存と管理

昨年の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言以後、事務局を訪問できず、現場の作業を進めることができていない。

##### ②『会報』掲載資料及び資料保存機関の情報の随時アップデートとオンライン化の検討

第75期より、『物理学史資料委員会会報』に代え、物理学史資料やその保存機関に関する情報の提供のために刊行することとした、『物理学史資料委員会ニュース』を制作した。第76期中には、委員から提供された原稿をもとに、第3号(2021年3月17日)が制作され、ウェブ上で公表された。ウェブ上での公表をもってオンライン化を実現している。

##### ④学会開催時のシンポ・展示等の企画検討

A. 第75回年次大会(名古屋大学)で予定されていた名古屋大学物理学教室の源流に関する「名大物理学教室の礎を築いたパイオニア」展示(会期:2020/3/17-3/21, 会場:名古屋大学博物館)は年次大会の現地開催中止および名大博物館休館にともない延期となった。この延長措置を経て、コロナ禍の状況も考慮しながら、2020/11/17-11/28に同博物館にて現地開催された。会期中の訪問者の合計数は323名であった。本展示は、企画・主催:日本物理学会物理学史資料委員会・名古屋大学博物館、展示協力:名古屋大学2008ノーベル賞展示室・坂田記念史料室、協力:日本物理学会名古屋支部であり、各方面からご協力いただいた。さらに、オンライン展示についても準備中である。

B. 「名大物理学教室の礎を築いたパイオニア」展示に関連する記事が会誌の「歴史の小径」で掲載された。すでに掲載された記事は以下である。大澤文夫に関する記事は今後掲載予定である。

・早川尚男「早川幸男の生涯と物理—素粒子現象論から宇宙物理へ」『日本物理学会誌』vol. 75, no. 10 (2020), 644-647.

・田中信夫「上田良二と電子線物理学の発展」『日本物理学会誌』vol. 76, no. 1 (2021), 45-47.

・西谷正「坂田昌一—素粒子論における物理と方法」『日本物理学会誌』vol. 76, no. 5 (2021), 308-311.

##### ⑤「年表(第二版)」の定期的アップデート手順の検討

年表(第二版)は、2011年までをカバーした形で2013年度末に出版された。出版後は、(1)2012年度以降をカバーすること(2)そしてそれらは、まずは物理学会のウェブサイトに掲載することを目標にしてきた。これを実現するために:(A)定例委員会に併せて(原則として、委員会開始前1-2時間)、担当委員による作業を実施すること、(B)作業が一定程度進行した段階で、年表グループ全体で編集・校閲作業を行う。

この作業は基本的には、メールでのやりとりを通じて行う。(C) 公表前に、委員会における承認を求める。ただし、項目の追加など一定の判断を要する件については、その都度事前に委員会の判断を求める。上記を目標に掲げつつ作業を進めることとしていたが、定例委員会が原則 Zoom 開催となったことなどから、作業は捗っていない。年表(第二版)については、著作権の扱いに考慮し「物理学会」関連部分のみではあるが、本学会のホームページにおいて閲覧出来る状態にはなっている。また、概ね 2016 年度以前の部分については、原稿は完成に近づいている。入念な点検作業の後、ウェブ公開は可能な状態まで進んでいる。

#### ⑥物理遺産の検討

物理遺産の検討グループの活動は、永平幸雄委員の記事「日本物理学会認定『物理遺産』はありえるか？— 日米欧 7 学会の Web 調査をもとに」(『日本物理学会誌』75(1), 2020, 40-44) の出版をもって、一つの区切りがつけられた。この記事については、一読者から好意的なコメントがメールで寄せられた。76 期は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下であり、Zoom で「物理遺産」の今後について議論することとなった。

#### 5. 計算機実験映画の公開

1968 年に京都で開催された統計力学の国際会議で上映された映画「秩序—無秩序現象の計算機実験」(Computer Simulation of Order-Disorder Phenomena, 1968) が、同映画の著作権を管理する一般社団法人記録映画保存センターの許諾を得て、本学会 HP の会員専用コンテンツで同映画を公開することになった(2020 年 12 月～)。

#### 6. 『日本物理学会誌』の寄贈

小形正男氏より、『日本物理学会誌』(未製本)の 2 巻 3 号(1947)～22 巻 12 号(1967) (なお、13 巻 2-3 号(1958), 21 巻 10 号(1966)が欠号) の寄贈を受けた(2021 年 3 月)。

以上